

標章

登録番

見本

総数 2頁の1頁
証明書番号 ###

校正証明書

依頼者名 ○○○○
依頼者住所 □□□□
品名 比重浮ひょう
器物番号 #####
製造者名 株式会社 安藤計器製工所

目盛範囲 1.000 ~ 1.060
目量 0.001
校正項目 比重
校正方法 衡量法

当社計量校正研究所「浮ひょう校正実施手順書」による

校正年月日 ****,****, 2017

校正結果は、別紙のとおりであることを証明します。

○○○○,○○○○, 2017

東京都板橋区仲町31-1
株式会社 安藤計器製工所
計量校正研究所
所長 古賀 英樹

この証明書は計量法第144条第1項に基づくものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して使用することを禁じます。

この証明書はILAC(国際試験所認定協力機構)及びAPLAC(アジア太平洋試験所認定協力機構)のMRA(相互承認)に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APLACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。

1. 校正結果

浮ひょうが表す目盛	校正値	拡張不確かさ	補正に使用した表面張力の標準値(mN/m)
1.0000	1.0000	0.0006	73.0
1.0300	1.0300	0.0006	73.0
1.0600	1.0600	0.0006	73.0

- 拡張不確かさは、信頼の水準約95%に相当し、包含係数 k は2である。
- 補正に使用した表面張力の標準値は、「JCSS技術的要求事項適用指針(密度・屈折率：固体密度標準器等、密度標準液等、浮ひょう、振動式密度計)」の表3. によるものである。
- 校正値とは、補正後の値である。

2. 校正条件

- 1) 上記の値は、標準温度15℃における値である。
- 2) ガラスの熱膨張係数は、0.000025/℃とした。
- 3) 目盛の読取りは上縁視定で行った。
- 4) 校正時の環境条件は、次のとおりである。
温度： 23℃ ± 2℃
湿度： 50% ± 10%
気圧： 1013 hPa
- 5) 比重への変換は、JIS B 8804による。
- 6) 基準とした水の温度は4℃である。
- 7) 校正時に用いた校正用液体の種類は、トリデカンである。
- 8) 校正時の校正用液の条件は、次のとおりである。
温度： 22.5℃ ± 0.1℃
密度： 0.755 g/cm³ ± 0.001 g/cm³
表面張力： 26 mN/m ± 2.6 mN/m
- 9) 使用した標準器は、シリコン単結晶リング(No.1)である。

以上